

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年6月12日発行)

## 1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。\*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週			
	20週 5月11日～5月17日	21週 5月18日～5月24日	22週 5月25日～5月31日	23週 6月1日～6月7日
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	401 80.20	512 102.40	490 98.00	437 87.40
		3 0.60	2 0.40	
	3 0.60	15 3.00	3 0.60	1 0.20
小児科定点	RSウイルス感染症*		1 0.33	
	咽頭結膜熱*	1 0.33	3 1.00	2 0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	8 2.67	8 2.67	10 2.67
	感染性胃腸炎	3 1.00	8 2.67	6 2.00
	水痘			3 1.00
	手足口病	1 0.33	3 1.00	4 1.33
	伝染性紅斑			
	突発性発しん	1 0.33		1 0.33
	ヘルパンギーナ*			1 0.33
	流行性耳下腺炎			
眼科定点	急性出血性結膜炎			
	流行性角結膜炎	3 3.00	4 4.00	1 1.00
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			
	マイコプラズマ肺炎			
	無菌性髄膜炎			
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1		1
	川崎病		1	3
	不明発疹症			1

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

## 2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

## 3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

### 【全数報告疾病】※栗原支所管内

- なし

### 【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 感染性胃腸炎の定点あたりの患者報告数が同水準で継続しています。
- 感染性胃腸炎の原因となる病原性大腸菌や細菌、ウイルス等は食品の扱い方法によって容易に増殖します。特に、高温多湿の時期は注意が必要です。
- 調理前は、石鹸と流水による手洗いを徹底し、食品は中心部まで加熱してから喫食するようにしましょう。
- 嘔吐や下痢等の消化器症状が出現し、水分や食事を十分に摂れない状況の場合は、医療機関への受診を御検討ください。

### 【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たな集団発生の報告はありません。

- 保健所では、手洗いチェッカーの貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。

手洗いチェッカー



### 【感染症コラム～流行性角結膜炎～】

- アデノウイルスを原因ウイルスとする急性の結膜炎で、夏季に流行がみられます。発症は5歳以下の小児に多いですが、成人を含む幅広い年齢層から報告があります。
- 8～14日の潜伏期間を経て急性に発症し、流涙、眼脂が現れます。眼瞼結膜の強い充血と濾泡がみられ、眼瞼の浮腫を伴います。
- 診断に眼科用の迅速診断キットが使われることもあります。
- 主な感染経路は流涙、眼脂で汚染された手指やタオル類からの接触感染です。感染力が強いため、医療機関、職場、施設などで集団感染がみられることがあります。
- 感染対策の基本は接触感染予防の徹底です。タオルなど患者が使用するものは共有せず個人用とし、消毒には次亜塩素酸ナトリウムの使用や、煮沸消毒をお勧めします。

### 【お知らせ】

- 国内で麻しん(はしか)が流行しています。
- 麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力が非常に強く、同じ空間にいただけで感染することもあります。
- 予防にはワクチン接種が有効です。2回接種していない方は、接種を検討してください。



大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594